

1, あいさつ (河原崎教育長)

この会議は、参加者のあいさつの声が元気で、会の良さ・エネルギーを感じている。今日のこの会議では、今年をまとめて、次へということになる。このいい雰囲気再来年度につなげていってくださると有り難い。今年度は「早寝・早起き・朝ご飯」を重点に、進めてきた。

(資料『30年度全国学力学習状況調査(H30.4実施)質問紙調査の結果から』を使って)

秋田県と北陸3県はいい結果を出している。秋田県が、全国平均よりポイントが高いのは、自分で計画を立てて勉強している。予習復習をしている。放課後や週末、家で勉強とか読書をしている。中学生になっても数値が下がらない。勉強に直接結びつくものではないが、御前崎市は、全国よりいい項目もある。

ここ数年取り組んでいることは、間違いではないし、いいところをおさえている。これを続けていけば成果が見えてくるのではないか。今年度、『早寝・早起き・朝ご飯』をやってきて、成果が出たが、ここで終わらず、一つ一つ加え、育ち・学びに繋がっていくと信じ、みんなで自信をもって、スクラムを組んで進めていきたい。ご協力をお願いしたい。

2, 会長から (御前崎中学校区会長・浜岡中学校区会長)

本日もスクラムスクール運営協議会、宜しくお願いいたします。

このスクラムスクール運営協議会もあと2回となりました。何かしら、形を作って、次年度へつなげていきたいと思えます。宜しくお願いいたします。

3, 事務局・社会教育課からの報告・お知らせ

(1) 御前崎市大産業祭に出店した「早寝・早起き・朝ご飯」のブースについて

- ・浜中より生徒会役員8名位の生徒が参加。中学生の力は、非常に大きかった。
- ・280人がアンケートの協力してくれた。レシピももらってくれた。レシピをカラーで100部用意したが、もう100枚白黒で追加したほどだった。
- ・「SS運営協議会って何?」という人もいたので、説明をした。知名度が低いので、何とかしていなくては・・・。
- ・お箸の持ち方のチラシを持っていってくれる人もいた。何かしらやっていくと啓発できることを実感した。

(2) 全園・校の朝ごはん調査の結果について (別紙・・・会の後半でご意見をうかがう)

(3) 社会教育課より (子育て世代の現状・保護者支援の取組の資料を元に説明)

御前崎市に限らず、じっくり子どもと向き合う時間がない。自分の子育てが正しいのか?・・・などと子育てに8割の人が悩んでいる。子育てに自信がもてないという人もいる。

そこで、社会教育課では、今年度、身近な地域の中で、身近な人による保護者に寄り添う支援が必要と考え、家庭教育支援員の協力を得て、『だれでも食堂もぐもぐ』を開催している。家庭教育支援員さんが、隣のおばちゃん的な存在の立ち位置で保護者に声をかけたり、相談にのってくれたりしている。子どもとふれあう時間をもて、家庭支援に繋がるよう願っている。

今年度の活動状況は、公民館を利用して、開催。150人が参加してくれている。

(新野地区は、『よってかまい』と協力。高松・朝比奈地区は、ボランティアさんと食推協と協力して開催。御前崎地区の『加多世』では、第3火曜日の夜、開催。等)

31年度は、地域団体と共催をしていく予定。(加多世・中遠調理師専門学校・よってかまい等)

#### 4, 協議

○12月調査の朝ごはんの結果についての感想・意見。

- ・小さいうちは、親の言うことを聞いて食べているが、中学生は、夜更かしをするので朝食を食べていないのかなと思った。表を見て、朝食を親が作ってくれない家庭があるのか。作ってくれたのか。中学生は、作ってくれても食べないのか。同じ子が食べていないのか。個別に追跡調査をしてのフォローが必要かと思った。
- ・中学生になると食べたという子の割合が下がるように思った。受験勉強や塾があつて食べないのか。勉強や部活や塾の関係で朝ごはんを、『ながら食べ』『移動しながら食べる』のかもしれない。家族と一緒に食卓を囲む機会があまりないのかも。大きくなるほど、親とのコミュニケーションが少なくなる傾向があつて、ご飯を食べないという環境が自然と出来てくるということもあるのかも知れないとも思った。各学校単位で、みんなで登校後食べる時間を作る取組をすれば、食べないという数値は、減ってくるのではないか。『食べられない』『食べない』環境の打破のために、そういう取組はどうか。
- ・食べていない子が、どういったリズムで生活しているのか。課題は、食べていない子の数字だと思うので、その数値をどう解析していくかが課題。
- ・今回は、園・小・中の全学年対象に声かけをして、アンケートを取っていただいた。アンケート調査の結果が、上がっていく印象は受けた。声かけをしていくことは重要。積み重ねていくことで、結果に結びついていくのだと感じた。
- ・長谷川課長より  
年長児・小5・中2は、昨年から追跡調査をしている。やるごとに数値が上がってきている。秋田県より朝食を食べる子が多い。続ける必要性を感じている。来年度も継続してやっていきたい。  
小5・中学生は、来年、学力状況調査を受ける学年。注目している。
- ・1年間、アンケートと統計を取っていただいた。この結果を元に、『朝ごはんの提供といった支援』も必要なのかも知れない。今後、声かけの点では、PTA 総会等で、朝ごはんの講演会を開いて、活動を広めていったらいいのではないか。朝食に限らず、共働きの家庭については、夏休み、『もぐもぐ』で、お昼を食べる場所の提供等を課題として検討していただけたら・・・と思う。
- ・長谷川課長より  
学校で・・・というのは難しいところがあるが、浜岡中学校については、地域の企業等のご協力を仰ぎながら、朝食の提供が出来たら、そういった子どもたちが、救われるのではないかと・・・という話はした。今後、検討。
- ・別の生活実態調査をしてもらおうといいのでは。夜更かし・スマホはどうなんだと感じた。朝ごはんを食べない原因を考えると、夜更かしが原因か。何で、夜更かしをするのか。スマホが原因ではないのかという感想をもった。
- ・非常にいい取組だと感じている。食べていない子の実態は？一人で食べているのか。人数はわかるが、何で食べてこないのか。子ども達が荒れているときは、割と一緒に食べていない。一緒に食べてくれる人が、いるのか、いないのか。食べる場が与えられているのか。実態が浮き彫りにされてくると手の打ち方が出てくる気がする。
- ・増田 CS より『食べてこない子の実態について』  
今年度一度、食べていない理由の調査をした。皆さんにも資料として出させていただいた。寝坊で食べていない子が多かった。食べる習慣がないというのが1軒。食べるものが家がないという子はいなかった。
- ・食べた・食べないのみでなく、食べたくない・食べられなかったという項目も追加したらどうか。
- ・アンケートを大人にも平行して取ったらどうか。SS 運営協議会がいい結果を出してきているが、PTA の中で、広がっていかない。いかに、親に対して、PTA の活動を通して浸透させていくのが必要。
- ・『早寝』『早起き』『朝ご飯』は、セット。別々のものではないと思う。子どもは、忙しい。夜の時間の使い方をも自分でマネジメント出来ていない。大人もそうだろうと思う。勉強・部活・習い事・スポ少もあると

思うが、スマホ・タブレット・ゲームの影響がすごくあると思う。

浜中の12月の入学説明会で、菊川警察署生活安全課から、大人がスマホから離れられない。子どももそうだけけれど、大人も夢中になってしまう。まず、大人が変わることが大事という話があった。朝ごはんを食べて一日の生活がスタートできるよう、夜の時間を整えることに取り組む必要があると感じている。

浜岡東小の学校保健委員会の講話（睡眠に関して、電子機器が、脳にいかに関与しているかという話）は、聞いている人が危機感をもつような話だったと聞いた。夜の時間を整えるのは、スマホだけではないと思うが、そういった実態があるのなら、区ごとそういったところから、切り込んでいくのも、方法の一つではないか。

- ・市内のみんなで講演会を共有することで、理解と納得に繋がっていくのではないかと。子どもにも保護者にも心にくすがる内容だったのだろうと思う。第4回の朝食状況調査の結果が、98.6%に上がった。学校保健委員会の講話が大きなきっかけになったのではないかと分析している。
- ・荒れている子の指導（親子関係がうまくいっていない家庭を訪問）にいったことがあったが、その家庭では、親子で一緒に食事を摂っていなかった。この家に生まれてこなければよかったという言葉聞いたとき、ショックだった。そういう家庭に入っていくとき、社会教育課のような取組は有り難い。その取組によって、保護者も子どもも繋がってほしい。
- ・朝食に関連して、職員の話し合いでも校長会でも、スマホが生活に影響しているのではないかと話が出てくる。各校でまだ対応（取組）が十分できていない。学校だけで取り組めば方向が向いてくるというものではないと捉えている。状況が十分に掴めていない状況なので、生徒指導の中で、アンケートを取り、結果を出して、皆様と共にどんな取組をしていったらいいのか。朝食を含め、スマホの面からも皆様と話を進めていけたらと、思っていますが、いかがでしょうか。
- ・長谷川課長より

寝る時間が少ない小・中学生。それは、中学生になってからの問題ではなくて、例えば、寝る時間。来年度は、朝ご飯の継続していくことに加え、寝る時間・夜の過ごし方を明らかにしながら、この運営協議会で、出来ることがあれば・・・と思っている。

園児の寝る時間は、どうなっているのか。夜の10時を過ぎて寝かせている家庭もある。9時に寝かせたいけれども、そうで出来ない家庭もある。寝る時間を明らかにして、そこに何か、SS運営協議会として出来ることはないかと思っている。

小中の生徒指導の先生達が2月中にアンケートをとる予定。3月のこの会で示す方向でいる。

園について・・・データがないので、協力を仰ぐか、31年度のPTA総会で今の会長さんから説明してもらおう。その時に、アンケート（朝食を摂ったか。摂らなかった理由）をとるとか、積み重ねをしてきたことの説明をしてもらえないかと思っている。

来年度の予算・・・講師代を予算計上してある。早寝・早起き・朝ご飯とスマホ・ゲームのことをPTAの方に話してくれる講師を呼びたいと考えている。

次年度の取組・・・スクラムグットマナー運動とスクラムカレンダーは継続。カレンダーの折り込み代も予算請求してある。朝ご飯の調査は継続して行いたい。（1学期・2学期）そのうち一回は、朝食をどうしてとらないかがわかるアンケートを行いたい。その他重点的に取り組むことは、夜の過ごし方を改善していきたい。ゲーム・スマホの状況をどうしたら改善していけるかを考えていきたい。

#### ○教育長より

市民の方に、グッドマナー運動・スクラムカレンダー・SS運営協議会のこと・重点的に『早寝・早起き・朝ご飯』を実施していること等を知ってもらうために、タウンミーティングで、必ず伝えてきた。

参加者が限られているとうこともあり、市民全体に行き渡ることが少なかったと反省としてある。

SS 運営協議会の1年間の結果を回覧等で市民全体に知らせていく必要があるのかも知れないと思っている。早寝・早起き・朝ご飯に取り組みは、ある程度成果があがった。うちの市の伝統になるように継続していきたい。

ゲームやネット依存を是非取りあげていってほしいと思っていたことなので、有り難く思う。

ネット依存の裏側に読書・読み聞かせがあると思う。これは、どちらも、学校のみではできないこと。

家庭・図書館・ボランティアの人が手を盛んになっていかない。二つともスクラムに合う活動だと思う。

ゲーム・スマホ依存の問題に取り組んで、方向性をもってほしい。そして、ゆくゆくは、読書・読み聞かせにまでいくともっと嬉しい。ご協力をお願いしたい。

## 5. 指導・助言 静岡大学 中村先生

### ① 朝食調査・・・非常に貴重なデータになっている。

教育長さんのお話に関連して、秋田県は、学力状況検査の結果がしばらくずっとトップの県。よい結果が、どうして出たかという見解は諸説あるが、統一された見解は出されていない。

秋田県は、何でいい結果が出たのかは、難しいが、特徴の一つとしては、無回答の子の率が、非常に低い。つまり、学び・取組ということにモチベーションをもって取り組んでいるということがいえる。それが他県との違いという学説がある。朝食の調査で、何がわかるのかということにも、関わるが、単に食べていればいいわけではない。朝食を一緒に食べる。朝食を摂る環境の中にいる。朝食・夕食の時間を誰かと過ごすことで安心して日常生活をおくれているという部分が重要なことになってのではないかな。

パーセンテージを上げることも大事だが、背景に何があるのか。何を目的として食べるという率を上げていくのが、調査のポイントであると思う。来年度の活動のポイントにもなっていくのではないかな。

### ② 学力調査 (A 問題・B 問題。基礎問題・応用問題)

秋田県・・・どちらも良くできている。最近傾向が変わってきているのは、応用問題の中に、特にコミュニケーション・意見を交換する力・議論をする力を問うような問題が非常に組み込まれつつあるということ。計算が出来る・勉強が出来るということも大切だが、それ以外に、誰かと意見交換をすとか、相手が何を考えているのかを正確に理解する、相手の話をちゃんと聞くというようなことが、問題の作成に反映されているのが昨今の傾向にあると感じている。学力の概念が変わって来ている。コミュニケーションをとる力も学力の中に入っていたり、朝食を一緒に摂ることで育まれていく力も組み込まれてきたりしているという印象を持っている。

御前崎市の取組も、非常に広い意味で、『昨今変わりつつある、問題に対応するような取組』になっているのかなと、全体の話し合いを聞いていて思えた。

### ③ 子どもが荒れる話や多様な環境の中で子ども達がいろいろな思いで過ごしていることは、朝食調査を元に話し合われたり、意見交換されたりしたと思うが、多様であることが、そもそも大事であることを忘れていただきたい。家庭の状況・家庭の生活・いろいろな働き方がある中で、一つのパターンに押し込んでいくのは、果たして正解なのかどうか、という点についても考えなくてはいけない。そういう意味では、こういう対策については、複数のチャンネルをもつ・用意しておくことが大事。例えば、学校で朝ごはんを提供するのは難しいでしょうが一案でしょうし、社会教育課と連携しながら、夕食を摂る機会を提供することも一案。それぞれの状況に応じて、対応できるような、チャンネルが複数あるのがいいのかなと思った。